

=ともに生きる暮らしをめざして=

特定非営利活動法人

尾張地域福祉を考える会 まごころ

まごころ 訪問介護事業所

まごころ

平成13年 3月1日 No. 93
〒491-0037 一宮市貴船2丁目11-17
☎ 0586-73-8707
FAX 0586-73-8870

NO.15 チェック介護保険

◆緊急対応で限度額を越える場合◆

■介護保険では、認定された介護度によって受けられるサービス量が決められる。サービスの限度である。限度額を越えるサービスが必要な方については、介護料の1割負担ではなく全額実費負担となっている。(例、身体介護1時間の介護料実費負担4,020円)

これはおおかたの利用者にとってきついものがある■急な入院を余儀なくされる高齢者は、回復されても退院時に元のままの健康状態で退院することが殆どない。「要介護度2」程度の方でも、排泄がおむつになって帰って来られるケースもある■したがって、退院時からお元気になれるまでには相当なサービスがなければ、一人暮らしの高齢者は不安で自立した生活はおくれられない。当然訪問回数が増えることになる。したがって、入院されるまえの介護度ではサービスはとても足りないが、介護認定のやり直しは状態が不安定な退院時にはされないのが普通■足りないサービスは地域によって市町村独自の上乗せサービスでカバーされるが、その上乗せサービスを持たない場合などは、実費負担をしてサービスを受けるか、当会のような有償の活動を利用する以外に方法がない■上乗せサービスを実施していない市町村は、せめてこの緊急時だけでも、ケアマネージャーが状況を判断し、必要と認めた介護支援に限っては、介護保険枠外の市町村独自の自立生活支援サービスが介護保険と平行利用出来るような施策を生み出していきたい■「もうすぐ限度額ぎりぎり、緊急時に使わないといけなから、押さえて押さえてとケアマネージャーさんが言われるので心配。今度のケアは有償で」と言われる一人暮らしのお年寄りがおられる■介護保険がスタートしてかれこれ1年。限度額を使い切っていない方がかなりあることの一つの理由がこれなのかと思いをめぐらしている。

グループホーム(小さな老人ホーム)の映画とシンポジウム開催

痴呆高齢者の世界に迫ります ----- 3月18日(日) 一宮勤労福祉会館大ホール

病んだあなたは、自分らしくどこでどう生きていきたいですか?

映画 「ホーム・スイートホーム」 シンポ 「高齢者が暮らしやすい“まち”を語る」



シンポジスト

高室 成幸氏 (ホーム・スイートホームの映画製作からかわる

高齢社会総合コーディネイター・ケアタウン総合研究所所長)

丹羽 典彦氏 (愛知県社会福祉協議会事務局次長)

野上美千代氏 (宅老所・NPO法人 はじめのいっぽ 代表)

長江 保明氏 (訪問介護・宅老・グループホーム・(有)ハートフルハウスるんるん 代表)

新しい家族のあり方や老いをみんなで考えます

尚、今回の上映は「平成12年度芸術団体等活動基盤整備事業助成金」の対象事業です。NPO事業サポートセンターと映画「ホーム・スイートホーム」全国上映委員会が共同で日本文化振興会の助成事業に応募され、NPOが主催する全国21カ所の上映地に限定して、1日の映画上映権利金が補助されることになったものです。

それに、当「まごころNPO法人」が応募、開催することになったものです。

◆場 所・・愛知県一宮勤労福祉会館 大ホール
一宮市若竹3・1・12 ☎0586-77-6612

◆日 時・・平成13年 3月18日(日曜日) 12時開場

◆日 程・・映 画 上 映 午後1時00分～3時00分
シンポジウム 午後3時10分～4時30分

◆上映券・・500円(1枚)

◆主 催・・NPO法人尾張地域福祉を考える会 まごころ

◆申し込み・まごころ事務所 ☎ 0586-73-8707

心温まる映画に出会うまたとない機会です。

皆様のご参加をお待ちしています。

老いの住まい、老いの生きざまを問いかけます。

一人が一人を、又ひとりをと輪を広げてください。

